

【令和2年度 各構成団体の「応援宣言及び取組計画」における取組状況について】

資料5

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
高知県民生委員児童委員協議会連合会	○児童に関する研修会や組織における児童専門部会での検討等により、児童を取り巻く現状や必要な支援を確認し、実践活動に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童委員専門部会で、各ブロックの活動状況について情報交換を行う。また、令和2年度は県内の児童を取り巻く環境や教育現場での取り組み内容を確認する。 ・各民児協の会長と主任児童委員の意見交換会等を実施し、各地区の活動内容の共有や今後の取り組みについて共通認識を持つ。 ・民生委員児童委員及び主任児童委員が参画し、各市町村民児協で子ども子育て家庭の現状や支援策について協議を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員及び主任児童委員が参画し、各市町村で子ども子育て家庭の現状や支援策について協議を行っている。 また、児童委員専門部会では県内の児童を取り巻く環境などについて県教委から報告いただき、各ブロックの活動状況について情報交換を行う予定である。
	○新生児誕生の情報提供を受け、「赤ちゃん訪問」を実施し、話を聞いたり、子育て支援のサービスなども紹介するなど関係をつくりながら、母親の孤立を防止します。	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村民児協毎に地域の実情に応じ、新生児訪問等に取り組む。ただし、今年度については新しい生活様式を考慮のうえ、訪問等は玄関先や庭先で行うなど工夫して実施する。 ・市町村の子育てサロンに参画するなど、保護者の孤立を予防する取り組みを進める。 ・新入学児童及び保護者と各地域の民生委員児童委員の面会を行うほか、地区によっては民生委員児童委員の顔写真入りのリーフレットを作成し、身近な相談役としてのPR活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンを開設し、保護者同士の情報交換や子どもの遊び場の提供を行っている。 また、市町村によっては、新生児訪問を行っているところや民生委員児童委員の顔写真入りのリーフレットを作成し、身近な相談役としてのPR活動を行っている。
	○児童委員活動を通し、地域の子育て世帯の把握に努めるとともに、状況に応じ専門機関と連携を図って対応するなど、子育て家庭を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や会議の場を活用して児童相談所や行政担当課等との顔つなぎを行い、専門機関との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て瀬滝が抱える課題が複雑化し日頃からの見守りや声かけ、行政や専門機関との連携・情報共有が重要視されている事を受け、主任児童委員を対象に個々のケースへの対応力の工場を目的とした研修を開催している。 また、児童相談所に視察研修に行き、児童を取りまく現状を学ぶ期間を設ける予定である。
	○子どもたちの「身近なおとな」となり、地域の子育て応援団となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童委員、主任児童委員として日ごろから学校行事などへの参加や登下校時の見守りなどを通じて、地域の子どもの「身近なおとな」となれるような関係づくりを進める。また、子育て中の親にとって「人生の先輩、子育ての先輩」として、身近な存在となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童委員、主任児童委員として、学校行事への参画や登下校時の見守り等を行うとともに、学校と密に連携をし、情報交換を行っている。
	○子育て、子育てを応援する地域づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・率先して「子育て応援団」となると同時に、地域住民への働きかけを行うことで地域に「子育て応援団」を増やし、子育て、子育てを応援する地域づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では県民児連として広域における取り組みは実施できていません。 しかし、各法定民児協においては、市区町村民児協らと協働し、地域住民と協働し、子育てしやすい環境の整備を進めているところです。

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
高知県社会福祉協議会	○地域共生社会づくりを通して子どもを産み、育てやすい環境づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進の中心的な担い手となる市町村社会福祉協議会に対して、「地域共生社会づくり」に向けた取組の方向性を示す。 ・多様な地域生活課題への対応を住民や専門機関と連携して進める地域専門人材（コミュニティ・ソーシャルワーカー）を研修を通じて養成する。 ・地域の推進主体（市町村社会福祉協議会等）に対して情報提供や助言を行う。 ・生活困窮者に対して、就労に向けた相談支援（就労準備支援）や家計に関する相談支援（家計改善事業）に取り組む。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村や市町村社会福祉協議会に対して、「地域共生社会づくり」推進のため、本会としての中長期的なビジョンである高知県地域福祉活動支援計画の周知を行った。 ・ブロック市町村社会福祉協議会会長意見交換会（7月～8月）や地域福祉推進セミナー（10月）を開催し、「地域共生社会づくり」の方向性や具体的な展開方法を説明した。 ・市町村社会福祉協議会を随時訪問し、情報提供や助言を行うとともに、関係機関とのネットワークづくりを支援した。 ・コミュニティ・ソーシャルワーカー養成研修（スタートアップ編）を開催した（9月～10月）。 ・生活困窮者に対して、就労に向けた相談支援や家計に関する相談支援を実施した（随時）。 <p>【予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ソーシャルワーカー養成研修（実践編）を開催（11月～12月）
	○さまざまな理由で未就学・未就労の状態にある若者（15歳以上）の自立を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・こうち若者サポートステーション、なんこく若者サポートステーション、あきサテライト、すさきサテライトに、より多くの若者をつなげ、修学や就労に向けた支援を行う。（相談支援事業、セミナー事業、就業支援、修学支援等／令和2年度目標 新規登録者数260人、進路決定者数210人） 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の修学・就労に向け支援を行った。上半期の新規登録者43.1%、進路決定者41.0%となっており、半年目標の50%には届いていない。4月から5月にかけての動けなかった期間以降は登録や支援が再開され、実績にも反映されつつある。 <p>【予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響下であることに配慮しながら、若者の修学・就労に向けた支援を引き続き行う。
	○障害児の可能性を伸ばすための支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズ☆バリアフリーフェスティバルの代替企画の開催及び県立ふくし交流プラザ福祉用具展示コーナーの設置を通じ、障害児及びその家族を対象として、子どもの成長過程に合わせた福祉用具を活用したり、制度・サービスを利用すること等への相談支援を行う。また、障害児の支援に関わる福祉・教育関係者の連携を進める。 （キッズ☆バリアフリーフェスティバル代替企画-11月21日～11月22日相談会開催／福祉用具展示コーナー-祝日・第2日曜日・年末年始を除いて開設） 	<p>【予定と実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズバリアフリーフェスティバル代替企画 <ul style="list-style-type: none"> （1）相談会の開催 開催日：11月21日（土）、11月22日（日）2日間 開催方法：ZOOMによる （2）障害児支援の理解啓発のための冊子作成 内 容：同フェスティバルの各ブース、コーナーの活動紹介 障害児関連の福祉機器の紹介 など ・福祉用具展示コーナー 全体相談件数（4月～9月）：369件 うち障害児関連相談件数：29件 主な相談内容：移動・移乗、姿勢管理、コミュニケーション、食事用具等に関すること
	○子どもたちの福祉のこころを育む取組を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村社協、福祉施設及びNPO等と連携して、夏のボランティア体験（通称：ナツボラ）を実施し、子どもたちの福祉のこころを育む。（期間：7/20～8/31） ・市町村社協等と協働して、小学生や中学生を対象としてボランティアを学び体験する場としてボランティアチャレンジ体験を実施し、地域やボランティアへの関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナツボラガイドを作成し、各高等学校・大学等に配布。（23,000部） ・7/20～8/31に40の受入施設（事業）でボランティア募集を行い、多くのボランティアが参加した。（参加者数は520名） ・ボランティアチャレンジ体験は4か所実施予定。 実施済2か所（本山町、仁淀川町）、調整中（安田町、黒潮町）

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
高知県社会福祉協議会	○児童虐待防止のオレンジリボンキャンペーンを実施します。	・11月の児童虐待防止月間に、児童福祉関係機関等と連携して、オレンジリボンキャンペーンを実施し、児童虐待防止への広報啓発活動を行う。	【実績】 ・講演会を10月9日（金）～10日（土）に香南市と須崎市で開催 【予定】 ・10月25日（日）～31日（土）にSNSでつながるオレンジリボン「オレンジリボンを探そうや!」を実施予定
	○子ども食堂の開設・運営を支援します。	・厳しい環境にある子どもたちを支援するために、子ども食堂の開設及び運営に関する研修や交流会等を開催する。 （子どもの居場所づくりスタッフ研修の開催、子どもの居場所づくりネットワーク会議の開催 等）	【予定】 ・子どもの居場所づくりスタッフ研修及びネットワーク会議 10月16日（金） ふくし交流プラザ 10月20日（火） 野市ふれあいセンター 10月28日（水） 黒潮町保健福祉センター 10月30日（金） すこやかセンター伊野
	○児童福祉の専門職への研修支援を行います。	・高知県福祉研修センターで、児童養護施設の専門職の研修を行い、資質及び専門性の向上を支援する。	・児童養護施設等中堅職員研修を2日間の予定で開催する。 ・その他、児童福祉を含む全ての分野の福祉専門機関を対象とした職位階層別研修、ソーシャルワーク研修等を開催する。
	○おもちゃ図書館の活動を支援します。	・所有している高知県社会福祉センターの一部を「おもちゃ図書館はとぼっぽ」の活動場所として無償提供し、活動を支援する。	・所有している高知県社会福祉センターの一部を「おもちゃ図書館はとぼっぽ」の活動場所として無償提供し、活動を支援している。引き続き、活動支援する。
高知県医師会	○安心して、安全に妊娠・出産し、子育てができる環境の整備に向けて、妊娠期から出産、乳幼児期さらには次世代の子どもを育てる若年成年までの切れ目のない保健・医療の充実に取り組みます。	・小児科医や産婦人科医が、受診や健診などの際に、育児や妊娠・出産などに関して相談を受け、助言などを行うことで、子育て等の支援を行う。 ・会員や一般県民を対象として、講演会や研修会を開催することにより、子育て等に関する学びの場を設ける。 ○産婦人科医会・母と子のメンタルヘルスケア研修会（9月） ○子育て支援フォーラム（1～3月に実施予定）	
高知県歯科医師会	○「いい歯の表彰」を行います。 ・年1回、11月に表彰式を開催（高知県共催）	・健康な歯を保たれている方々や、歯科保健対策の推進に貢献していただいている方々を表彰させていただき、受賞者の方々のお声と共に、歯と口の健康の大切さについて県民の皆様にお伝えし、さらなる歯科保健の推進とすることを目的として実施する。	・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、本年度は中止。
	○高知県少子化対策推進県民会議の活動・情報の提供を行います。 ○日常診療において、児童虐待等の早期発見・防止に努めます。	・本会の会員向けに毎月発行する会報誌や発送する便に、県民会議の活動・情報の提供を行う。 ・乳幼児歯科健診、学校健診、歯科診療所で歯科の発見機能を生かしていくため昨年度作成配布した「歯科における子ども虐待対応マニュアル」を活用する。	・本会の会員向けに毎月発行する会報誌や発送する便に、県民会議の活動・情報の提供を行う予定。 ・市町村、学校等の保健担当者との連携を取る。

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
高知県歯科医師会	○赤ちゃん会・子育て応援団へ参加、歯・口の健康を通して子供達のすこやかな育成をサポートします。	・高知赤ちゃん会への参加協力：健診、相談により歯科からの子育ての支援を行う。 子育て応援団への参加協力：RKC高知放送主催の子育て応援団すこやかイベントに歯科ブースを出展、むし歯菌チェックや歯科相談を実施して、子育て世代の親子に対して支援を行う。	・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、本年度は中止。
	○乳幼児健診や歯科診療所などでの定期健診を通じて、親子の心身の健康づくりを推進します。	・各市町村乳幼児健診および広域健診により子育て世代の親子に対し歯・口の健康を通し全身の健康について相談・指導を実施する。 ・小児期の口腔機能向上について健診時等に使用するマニュアルを作成配布	・各市町村乳幼児健診および広域健診により子育て世代の親子に対し歯・口の健康を通し全身の健康について相談・指導を実施する。 ・小児期の口腔機能向上についてマニュアルを活用した保健指導また関係職種へのアドバイス等を行う。
	○本会歯科保健センター・同「幡多分室」で障害のある子ども達の歯・口の健康をサポートします。	・歯科保健センターおよび同幡多分室において障害者診療を通じ支援の必要な子ども達の療育をサポートする。	・歯科保健センターおよび同幡多分室において障害者診療を通じ支援の必要な子ども達の療育をサポート。
	○テレビ特番を活用して、啓発を行います。 ・年2回、30分番組を放送	「歯の健康を考えよう」をメインテーマに、県民向けの啓発番組を放送する。	・令和2年7月26日（日）啓発番組を放送。 ・令和2年12月5日（土）に2回目の啓発番組を放送予定。
	○歯科衛生士復職支援を行います。 ・年1回研修会を開催（高知学園短期大学共催）	・結婚・出産・育児等で離職した未就業歯科衛生士の知識・技術の向上を図り、復帰に対する不安を取り除くことで、再就職できるよう支援と促進を目的とした研修会を開催する。	・結婚・出産・育児等で離職した未就業歯科衛生士の知識・技術の向上を図り、復帰に対する不安を取り除くことで、再就職できるよう支援と促進を目的とした研修会を開催予定。
	○歯科衛生士就職支援を行います。	・本会ホームページ内に求人サイトを立ち上げ、就職を希望される方へ情報を提供する。	・本会ホームページ内に再就職支援サイトを立ち上げ、情報提供を行っている。 ・令和2年9月には本サイトを利用された方の就職が決まった。
高知県看護協会	○ワーク・ライフ・バランスに関するワークショップ開催や施設訪問等により、看護職が安心して働き続けることができる職場環境を支援していきます。	・ワーク・ライフ・バランス推進のインデックス調査への参加を各施設に働きかける。 ・当協会ワーク・ライフ・バランス推進委員会が中心となり、看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ及びフォローアップ・ワークショップを開催する。 ・ワーク・ライフ・バランスの進捗状況を確認・支援するために施設訪問を行う。 ・働き方改革の実現に向けて看護職の働き方に関して施設訪問を行い、実態を把握し、改善の取り組みを支援する。 ・県・労働局、医療勤務環境改善支援センター等との連携を図る。	・ワーク・ライフ・バランス推進のインデックス調査：4月に参加施設を募集し、20施設（1,699名）から応募あり。（1施設脱落61名）調査期間は7～8月とし、7月初旬に調査票を配布し、7月下旬に自動集計表のフォーマットを配信した。9月23日の看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップで集計を持ち寄り分析、課題を抽出、今後の取り組みを検討する予定。 ・ワークショップの開催：看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップは9月23日、フォローアップ・ワークショップは令和3年2月に開催予定。 ・ワーク・ライフ・バランスの進捗状況を確認・支援するための施設訪問：11月～12月に19施設を訪問予定。 ・働き方改革の実現に向けての施設訪問：看護職の働き方に関して11月～1月に施設訪問を行い、実態を把握し、改善の取り組みを支援する予定。 ・県・労働局、医療勤務環境改善支援センター等との連携：高知県医療勤務改善支援センター運営協議会や当協会ワーク・ライフ・バランス推進委員会等を通して情報共有や意見交換を行い、連携を図る。
	○結婚支援、子育て支援に関する行事に参加するとともに、当協会にポスターを掲示し、看護職者に紹介します。	・「すこやか親子」などの行事に参加する。 ・当協会エントランスにポスターを掲示する。	・行事への参加：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「すこやか親子」は中止となった。 ・ポスターの掲示：当協会エントランスに掲示している。

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
高知県保幼小中高PTA連合協議会	<p>○保幼小中高PTAが連携して「早ね早おき朝ごはん」運動を推進し、子どもたちの生活リズムの向上を図ります。</p> <p>○保幼小中高PTAが連携し、県内一斉に交通安全指導を行うとともに、保護者自らが交通ルールやマナーを守り、交通安全意識の向上を図ります。</p> <p>○啓発資料等の配布をととして子育てに関わる情報を周知し、意識の向上を図ります。</p>	<p>・子どもたちの健やかな成長を目指し、家庭や地域の教育力を高めるため、保幼小中高PTA会員や関係者が一堂に集い、高知県PTA研究大会を開催する。</p> <p>・子育てに関するイベント等において、着ぐるみ等を活用した啓発活動を行い、基本的生活習慣の確立に向けた保護者の意識の向上を図る。</p> <p>・各地域で保護者会や単位PTAが協力し、交通量の多い交差点や通学路の危険箇所などで街頭指導を行う（秋の全国交通安全運動実施期間中）</p> <p>・子育てや医療・福祉等に関する啓発資料を配布し、周知する。</p>	<p>・令和2年7月12日「令和2年度高知県PTA研究大会」を実施。参加者255名、アンケート満足度94.4%</p> <p>・令和3年2月7日「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2020」開催予定。基本的生活習慣の確立に向けた啓発活動を行う予定。</p> <p>・令和2年9月25日を中心に各所園学校にて実施。自転車乗車時のヘルメット着用や、交通ルールなどの呼びかけを行った。</p> <p>・令和2年7月12日のPTA研究大会において「子育て・福祉」に関する啓発資料を大会参加者に配布し、情報提供を行った。</p> <p>・令和3年2月7日「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2020」において、子育てに関する啓発資料を配布し、意識の向上を図る予定。</p>
高知県高等学校長協会	<p>○次世代を担う高校生が、子どもを産み育てることの意義を考えるとともに、子どもの発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割について認識し、子どもや高齢者など世代を超えた共生社会に貢献できる態度をはぐくむ教育を推進します。</p> <p>○労働衛生管理の充実を図るよう、県立学校において働き方改革を進めるなど、働きやすい労働環境の整備を整え、家庭や地域、社会における役割を積極的に果たすことが可能な職場づくりを推進します。</p>	<p>・すべての高等学校や特別支援学校高等部において、教科家庭において基礎的知識・技能を学ぶとともに、教科横断的な取り組みとして保健体育科保健科目や公民科現代社会科目などの授業の中でも学習を深めさせる。</p> <p>・また、生徒の主体的行動に繋げるため、地元の保育所や幼稚園、社会福祉施設などにおける体験活動を通じて、「子どもを産み育てやすい環境づくり」の重要性を実践を通して理解させる取組も積極的に進める。</p> <p>・各校において時間外勤務者の多い部活動について、昨年度から「運動部活動に係る活動方針」の策定・公表を行い、適切な時間管理のもと部活動体制の整備が整った。今後、指導方法の改善や生徒の主体的活動にさらに繋げ、練習時間縮減に努める。</p> <p>・また、全教職員の長時間勤務への改善対策や健康相談体制の整備を、外部機関の支援も仰ぎながら推進する。</p>	<p>・授業における学習は、各学校で着実に進めている。しかし、キャリア教育の一環として、各学校の年間の取組メニューの中に、保育所、幼稚園、福祉施設でのボランティア活動や出産、育児などに関するいのちの教育、看護体験等を計画していたが、コロナ禍の中で中止せざるを得ない状況となった。</p> <p>・各学校とも体育系・文化系の「部活動に係る活動方針」を策定し、学校HP等に公開するとともに、指導者の指導改善を通じた意識改革や生徒の自主性の育成に繋げている。また、年度前期はコロナ禍の中、学校休校や学校行事等も中止となり、勤務時間の余裕ができ、学校再開後の教材研究等を行うことができ、その後の時間外業務減少に繋がった。今後も、県教委などと連携し、時間外勤務の実態を詳細に把握しながら、学校全体として業務の工夫改善や効率化に取り組み長時間勤務の減少に努め、少しでも家庭生活や私生活へ時間を充てることのできる環境整備に努めている。</p>
高知県小中学校長会	<p>○高知県小中学校長会は、未来社会に夢と希望を持ち、たくましく生きる日本人の育成に向け、義務教育の入り口である小学校教育を充実させ、保護者・地域住民に信頼される学校づくりを推進します</p>	<p>・学校経営計画に基づき、児童・生徒、保護者、地域住民等、学校関係者すべてが生き生きと活動することができる学校づくりを行う。</p> <p>・教員が子どもたちと向き合う時間の確保や、心身ともに健全な状態で教育に臨むことができるよう、学校の働き方改革を関係諸団体と協働して進める。</p> <p>・校長の果たすべき役割と指導性を究明する研究・研修を実施し、新学習指導要領の趣旨に沿った社会に開かれた教育課程の編成、実施、評価、改善を行う。</p>	<p>【学校教育の視点から】『WithコロナからPostコロナの学校へ』</p> <ul style="list-style-type: none"> □次代を担う人材育成の視点 <ul style="list-style-type: none"> ◇今求められている力の育成 ◇地域人材の活用、関係機関との連携 ◇働き方改革（業務改善への取組） <p>【子育ての視点から】</p> <ul style="list-style-type: none"> □次世代育成支援対策推進法の理解 □教職員子育てサポートプランに基づく取組
高知県保育所経営管理協議会	<p>○各保育所において、地域の各団体や関係機関と連携して地域の全ての子どもと子育て家庭を対象に子どもの育ちと子育てを支援していきます。</p>	<p>・各保育所において、地域の各団体や関係機関と連携して地域の全ての子どもと子育て家庭を対象に子どもの育ちと子育てを支援している。</p>	<p>・各保育所において、地域の各団体や関係機関と連携して地域の全ての子どもと子育て家庭を対象に子どもの育ちと子育てを支援している。</p>

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
高知県保育士会	<p>○私たち保育士会は、子どもの育ちを支え、保護者の子育てを支え、子どもと子育てにやさしい社会をつくりたい。</p>	<p>・全ての子どもの健やかな育ちを実現できるよう、子どもの育ちを家庭と連携して支援していく。</p>	<p>・子どもが豊かに育ち、より質の高い保育の実現に努め、子どもの育ちや保護者の子育てで支援を継続していく。</p>
	<p>○家族形態の変化、子どもを取り巻く環境の変化の中で、子ども・家庭に寄り添います。</p>	<p>・子ども・子育てを取り巻く社会的課題を鑑みた専門性を高め、保育現場のニーズに対応していく。</p>	<p>・食育の意義や医療的配慮、虐待や貧困などの課題にも目を向け、日頃の保育を通して、些細な変化に気づき、支援をする。</p>
	<p>○幼稚園・こども園・小学校等との連携を密にしながら、子ども・子育て支援に取り組みます。</p>	<p>・地域の中で協働しながら支援できる体制づくりを構築する。</p>	<p>・各関係機関との連携を一層促進し、相互理解に努める。</p>
高知県国公立幼稚園・こども園会	<p>○PTA等の組織と連携しながら、早寝・早起き・朝ごはん、基本的な生活習慣の定着を図ります。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の正しい情報を共有し、家庭と共に予防対策に取り組みます。</p> <p>○規範意識を培っていくための情報発信や講演会、保育参加など親と子が共に育つ場の機会の充実に取り組んでいきます。</p>	<p>・子育てに関する研修をPTAと共に、園の実態にあった内容を企画し、感染予防対策に配慮し実施する。</p> <p>・基本的な生活習慣の定着や規範意識の大切さを伝え、子育てを家庭と共に、そして保護者へ返していくための取り組みを行う。</p> <p>・子どもたちの健やかな育ちのために、育ちの過程やそれぞれの時期に大切にしなければならないことなどを、園だより等で情報発信する。</p> <p>・コロナ禍においては、保護者との連携を例年以上密にし、丁寧に悩みを聞き、保護者同士のつながりも工夫しながら持てるようにする。</p>	<p>・感染予防対策に配慮しながら、参観日を設定し子育てに関する研修を行っている。</p> <p>・基本的な生活習慣が定着するように、生活リズムチェックカード等を活用し、一緒に考える機会を持つようにしている。</p> <p>・園だよりやクラスだより写真掲示等で、園での遊びの姿や子どもの育ちを伝え、共に成長を喜び合えるように取り組んでいる。</p> <p>・感染予防対策の正しい情報を発信し予防に努めている。看護師が手洗い指導を行い、実践に繋げている園がある。</p>
	<p>○保育所、小学校等の連携、預かり保育の実施・充実など、弾力的な幼稚園・こども園運営の推進に取り組んでいます。</p>	<p>・各園のニーズをしっかりと捉え、必要な支援が行えるように行政と共に計画に取り組む。</p> <p>・異校種間で互いの保育・教育を知り、子どもの発達や特性の理解を深め、子どもの育ちが繋がるように取り組む。</p> <p>・地域の実態に応じ、保・幼・こども園・小・中・高の連携の中で、園児・児童・生徒相互の関わりを大切に捉え、豊かな人間関係が育っていくように取り組む。</p>	<p>・預かり保育は、保護者のニーズに合わせて利用できるよう実施している。</p> <p>・コロナ禍においては、子ども同士の交流はできていないが、園長会や合同研修会において、子どもの育ちが繋がるようにしている。また、SSWが配置されている園では、子どもの育ちや保護者等を小学校へ繋げ、子どもの理解を深めている。</p> <p>・感染予防対策に配慮しながら、地域の方と関わる機会を大切に、様々な人とのかかわりが持てるようにしている。</p>
	<p>○未就園児親子への園開放(子育て相談)を設けるなど、地域に開かれた子育てを支援します。また、関係機関との連携を図り、妊娠期から子育て期への切れ目ない支援の一翼を担っていきます。</p>	<p>・各市町村における関連機関会議などに参加し、保護者の実態を通して、ニーズと支援のマッチングを図る。</p> <p>・園庭開放や子育て相談の場の確保に努め、地域の中で子育てを応援する。</p> <p>・適切な子育て支援、親育ち支援ができるように研修に取り組む。</p>	<p>・保健師など関係機関と連携を取りながら、子どもの状況把握や保護者の見守り支援を行っている。</p> <p>・感染予防対策に配慮し、人数制限や時間制限を取りながら、未就学児親子への園庭開放を行っている。</p> <p>・親育ち支援や子育て支援の研修に取り組み、職員間で共有し活かしていくよう努めている。</p>

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
高知県私立幼稚園連合会	○私立幼稚園はPTAの事務局と幼児教育や子育てに関する研修を行い、保護者の教育力や子育てに関する意識を高めていきます。	・PTA大会を開催し、講演等で子育ての意識を高める。全国大会に参加し、子育ての知識の幅を増やす。	・新型コロナウイルスにより、開催困難ではあるが、状況を見て研修等の参加を検討する。
	○私立幼稚園は、スポーツや文化活動などのサークル活動を通して保護者同士のつながりを深め、子育てに対する意欲を高めていきます。	・加盟園にて、各種サークルを設け保護者とのコミュニケーションを高める。	・各施設、新生活様式でのサークル活動を縮小した形式で実施。
	○私立幼稚園は、保護者のみならず小中高生及び地域の高齢者と力を合わせ地域の活性化を図るとともに活力ある子育てを推進していきます。	・加盟園にて、行事を通じて地域間との連携を高め、教育委員会を通じて小中学校の連携を高める。	・各施設、新生活様式で規模を縮小した形式で実施。
	○私立幼稚園は一時預かり・預かり保育を実施し、両親が働きながら子育てをしている家庭の支援を行います。また、幼保連携型認定こども園・幼稚園型認定こども園においては、保育ニーズに応えるよう、2号・3号認定こどもの保育を推進していきます。	・一時預かり・預かり保育を加盟園を通じて実施する。 加盟園にて、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園については2号3号認定の保育ニーズを高める。	・各施設、一時預かり・預かり保育を実施。幼稚園型認定こども園・幼保連携型認定こども園は保育の充実を実施。
	○私立幼稚園は未就園児と保護者に園庭や空き教室を開放し、親子で一緒に遊ぶ(活動する)ことによる懇親や交流を深めるとともに、教育相談に応じるなどの子育て支援を行います。	・未就園児への子育て支援活動を、加盟園を通じて実施する。	・各施設園庭開放・親子登園を実施し子育て支援の活動を充実。
高知県青年団協議会	○青年団活動の軸に「であいのきっかけ応援事業」(であいのきっかけ応援事業を通して、であいを応援するだけでなく、県内各地の青年団活動が再び活発になるきっかけにする。)	・各地で事業展開	・コロナ等で延期となっているが、津野町や四万十市で年度内開催予定。
	○青年団OBを婚活サポーター・応援団として登録(「であい・結婚」をテーマに盛り込んだ夜学会を県内各地で開催し、OBを巻き込み、ネットワーク化を目指し、県民運動の一助を担う。)	・まずOBとの関係づくりを深める。具体的なアクションを起こす。	・50周年史の取材を通して青年団の「であい」の魅力にスポットをあて、各地OBを訪ねている。
	○社会教育の魅力と可能性、社会教育関係団体の連携(青年団や婦人会、老人クラブ、PTA、公民館等社会教育団体が連携した「であいのきっかけ」の場を創り出して行く。)	・ミニ実践交流会等の開催。	・三原村夜学会(9/26(土)) ・四万十町での開催(11/28(土))
	○青年団体の連携(県内各地の青年団体が主催・主体で企画・携わる地域行事・イベントを「であいの場」として位置づけ、参加を促し、新たな「であいのきっかけ」の可能性を示す。)	・交流会の開催を通じて、共に取り組む関係づくり。	・ソフトバレー交流、学びをセットとした交流会の開催。(9/19(土) 予土線沿線ワカモノ交流会)
	○よさこい×であい(「人をつなぐ」手段として広く認知されているよさこいの持つ魅力と可能性を、青年団チームからしっかり発信し、まわりを巻きこみ活動を活発にして行く。)	コロナ禍の中での「よさこい」の進行 来年度に向けて計画作成	・よさこい祭りが無い中でできることを。 進行中(子どもキャンプにおける子どもへのレクチャーを通じた若者のであいと交流)

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
高知青年会議所	<p>○「明るい豊かな社会の実現」の理念のもと、青少年事業やひとづくり・まちづくりに関する様々な事業を企画・実行することにより、地域の問題解決に向け積極的に取り組みます。</p> <p>○(公社)日本青年会議所本会との連携</p>	<p>・わんぱく相撲高知場所の開催や青少年育成事業の開催を通じて子供の成長している姿を体感することで、子育て世代の方々へ子育ての楽しさ等を実感出来る場を提供する。</p> <p>・育LOM認定制度を実施。育児世代であるJCメンバーが家庭や仕事、JC活動を平行しながらも活躍できる子育て支援等を積極的に行なうLOM（各地青年会議所を指します）を指します。様々なライフステージにあるLOMメンバーが活躍できる組織環境の構築を通じて、誰もが活躍できる社会の実現を目指します。</p>	<p>・本年開催予定でしたわんぱく相撲高知場所は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。しかしコロナ禍にて困っている方に対しての事業を計画し、子ども食堂リスタート計画と称し、当時、コロナによって閉鎖をされていた既存の子ども食堂運営者の方々とニューノーマルを導入した子ども食堂として再開支援を実施しました。</p> <p>・現状募集期間中ですので、結果連絡があり次第、ご報告します。</p>
高知県連合婦人会	<p>○婚活サポーター(サブサポーター)としての活動や地域での青年の応援隊として交流します。</p> <p>○小中学校への食(伝統料理伝承)の支援や学習への参加を行います。(地域支援本部の一員として)</p> <p>○家族の応援や地域での共働きの家庭への支援、交流などを行います。</p> <p>○年会報などで地域での活動を啓発します。</p> <p>○連携することで横のつながりを作ります。</p>	<p>・地区毎の活動が中心になり前向きにしている。</p> <p>・今年も活動範囲を少し狭めてポイント的に行い、大きな集まりはないが、固定している内容についてのみ広がりは続いている。</p> <p>・子どもの出産が少ないけど、広報などで知ることができ、今年は努力しているところです。</p> <p>・啓発よりも方向を掲示したPRや集会できる場での交流を図りたい。</p> <p>・大きな大会開催は考えず、消極的にならない程度の連携で各方面とのつながりを実施。</p>	<p>・年間数回にわたり、研修会を予定(リーダーのみ)</p> <p>・学校の児童、PTA、先生との交流の中に婚活のサブサポーターとして活動する。</p> <p>・上半期、下半期に分けて婦人会員として見守りなどを行う。</p> <p>・ポスターの掲示。 ・チラシなどで交流を図る。</p> <p>・県下的には回数、実施ともに予定していないが、ウェブ会議などでの交流も考えていきたい。</p>
認定特定非営利活動法人NPO高知市民会議	<p>○子どもたちの多様性を尊重した、健やかな育ち場を紹介、提供します。</p> <p>○地域で子どもを育てる拠点づくりを支援します。</p> <p>○NPO、市民活動団体をサポートします。</p>	<p>・「わいわいくじら」の発行を通じて、春・夏休みに子どもたちが楽しく学べる講座や親子で参加できるイベントを紹介し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p> <p>・とさこタウンを開催し、子どもたちの創る「小さな高知」を通じて、子どもの多様な学びを支援する。</p> <p>・高知県が進める多機能型保育支援事業を通して、保育所を地域住民と子育て世代がつながり、「地域で子どもを育てる」拠点となる居場所を開設支援、継続支援を行う。</p> <p>・当団体が運営する高知市民活動サポートセンターの利用促進し、子育てを応援・支援するNPOや市民団体の活動の活性化に努め、より充実した子育て支援を子どもや保護者へ届ける。</p>	<p>・7月になつやすみ号16,500部を作成し、高知市内の小学校(44)を通じて児童の各家庭に配布。 保育園・幼稚園・認定こども園(105)、子育て支援センター(14)、市内ふれあいセンター(14)、その他関係機関、協力団体へも配布。</p> <p>・とさこタウンは、新型コロナウイルスの影響で中止。現在、来年度について実行委員会で検討中。</p> <p>・市内12保育園へ活動支援(情報発信、地域住民との連携調整、サロン等への参加など)</p> <p>・スタンプラリーの開催や地元商店街合同のイベント開催など行う。 高知市11園 室戸市1園 香南市1園 香美市1園 四万十市6園</p> <p>・市民活動サポートセンターにおいて、市民活動を資金面や広報、物品貸与、貸し会議室においてサポート。</p> <p>・新型コロナで活動が停滞しないように、リモート会議やワークショップが行えるよう機材やネット環境整備し提供。</p>

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
高知県商工会議所連合会	○情報発信を行います。	・機関紙(会報)により、各種事業の周知や啓発など、情報発信につとめる。	・今後、会報(約3,200社へ送付)で各種情報を発信する予定。
	○婚活事業を実施します。	・高知商工会議所女性会が出会いのきっかけづくりとして、婚活事業を実施する。	・令和2年8月実施予定であったが、コロナウイルス感染防止のため、令和3年2月に延期した。
	○各種セミナーを実施します。	・女性の活躍推進や人材育成セミナーを実施する。	・8月18日(火)に、行政、経済団体が集まり、高知県女性の活躍促進連絡会を開催した。 ・10月28日(水)管理職向けに「部下との面談力」を上げ、部下のキャリアを育てるセミナーを実施予定。23社49名が申込済(10月23日現在)
高知県商工会連合会	○こうち子育て家庭応援事業普及に協力します。	・こうち子育て家庭応援事業普及に協力します。	・こうち子育て家庭応援事業級に協力
	○仕事と家庭の調和を図るための情報提供・組織づくりに努めます。	・仕事と家庭の調和を図るための情報提供・組織づくりに努めます。	・仕事と家庭の調和を図るための情報提供、育児休業取得者(2名)のフォロー
	○関係機関と連携して広く情報提供を行います	・関係機関と連携して広く情報提供を行います。	・関係機関からの情報を周知
高知県中小企業団体中央会	○本会が発行する機関紙、メールマガジン等を活用し、出会いや子育て等に関する情報提供やイベント等への勧誘を行います。	・会員組合等に対し結婚支援、子育て支援、ワーク・ライフ・バランス推進などに関する情報を本会が発行する機関誌「へんしも情報」、メールマガジン等を活用して提供を行う。 ・本会事務所の掲示板や通路に関連ポスターを掲示する。 ・コロナ禍を考慮し、各組合会合等のタイミングを活用した情報提供についても可能な範囲で取り組む。	【実績4/1~9/30】 ・本会が発行する機関誌「へんしも情報」9月号に、高知家の出会い・結婚・子育て応援団の募集案内と、育児休暇・育児休業の取得促進に関する記事を掲載した。(取得促進宣言の賛同企業募集) ・本会入口に設置しているパンフレットスタンドの目立つ場所に「るんだ」の育児取得促進のマグネットを常時設置。 【予定10月~3月】 ・会員組合等に対し結婚支援、子育て支援、ワーク・ライフ・バランス推進などに関する情報を本会機関誌「へんしも情報」、メールマガジン等を活用して引き続き提供を行う。具体的には、機関誌10月号に「こうち出会いサポートセンター」の紹介記事を掲載。 ・コロナ禍を考慮し、関係団体や組合の会合等のタイミングを活用した情報提供についても引き続き可能な範囲で取り組む。 ・上記取り組みについては、「高知県働き方改革推進支援センター」をはじめ関係機関・団体等と連携しながら推進する。
高知県経営者協会	○ワークライフバランス推進の情報発信・啓発に努めます。	・働き方改革に関連するセミナーの開催や情報発信を行う。	・働き方改革推進セミナーを、年間で10回程度開催し、働き方関連法の改正の周知・啓発を行う。
	○行政等が実施する事業の広報に協力します。	・行政等が実施する事業について、協会のHPでの紹介、広報チラシの配布の協力を行う。	・年6回発行する機関誌の送付等に合わせて広報チラシの配布を行う。 ・協会HPを年内にリニューアルして、随時情報発信を行う。
日本労働組合総連合会高知県連合会	○仕事と生活の調和を図り、男女平等、均等待遇の実現に向けた啓発などを行うため、推進フォーラムや推進会議等を開催します。	・男女平等参画推進フォーラムの開催(R2年度は10月開催) ・執行委員会や青年・女性委員会へ各種イベントの告知やチラシ配布、参加・参画を呼び掛ける。	
	○行政等が主催する会議やセミナー等に積極的に参加を行います。	・引き続き、行政等が主催する会議やセミナー等に積極的な参加を構成組織に	・案内のあったものは、都度、執行委員会や各種委員会で参加を呼びかけている。

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
高知県農業協同組合中央会	○就業者の所得向上に努め、安心して子育てができる環境づくりに取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者の所得増大に取り組み、経営基盤強化により世帯形成を後押しする。 ・食農教育の取り組みを通じて、子どもの健全な食生活の実現を図る。 ・総合事業を通じたサービス提供により生活インフラ機能を発揮し、過疎がすすむ農村地域における子育てを支援する。 ・子育て世代の農業従事者の交流の場を設け相談し合える環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者の所得増大に向け、反収の向上や経営管理支援、コスト低減など、引き続き取り組んでいる。 ・コロナ禍にあって小学生を対象とした通年型の食農教育活動「あぐりスクール」は、1か所のみとなっているが親子で参加できる機会を設けるとともに、女性部による中学校への出前講座なども開催している。 ・中山間地域でのSSや購買店舗の機能維持、また移動購買車を2か所まで走らせ農村地域での生活支援を行っている。 ・子育て世代に該当する45歳までの農業女性層をフレッシュミズ層と位置づけで、活動に取り組んでいる。今年度は、小規模ではあるが県下で2回（野外交流会・料理教室）の交流会を行う。
	○少子化対策に関する情報発信を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発資材（ポスターやチラシ）をJA関連施設に設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜対応中。
高知県森林組合連合会	○各パンフレットの配布やポスターの掲示	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公の場へのポスター掲示や、会員・関係機関への資料配布など積極的に情報提供を行っていく。 	
	○中山間地域で安心して子育てができる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との協力し、中山間地域へのIターン・Uターンの推進。 ・豊かな森林資源を活用し、新規就業の促進や就業者の所得向上に努める。 	
	○育児休暇制度等の活用を推進	<ul style="list-style-type: none"> ・制度についての情報提供など、本会のみならず会員・関係団体等幅広く積極的な活用の推進に努める。 	
高知県漁業協同組合連合会	○文書等により、少子化対策に関する様々な情報の提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・会員及び関係団体へ出会いや子育てを応援するためのチラシを配布したり、ポスターの掲示を行う。 ・少子化対策に関する取り組みや推進に協力し、情報提供等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員組合に対し、少子化対策に関する取り組み推進・出会いや子育てを応援するためのチラシ等を配布し情報提供を実施したほか、事務所に関係ポスターの掲示を行った。
	○育児休暇制度等、積極的な活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業に対する利用・参加の呼びかけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員組合に対し、関係事業に対する利用・参加の周知文書を発出した。
	○働きやすい職場環境を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・時間単位有給休暇制度導入の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間単位有給休暇制度導入について、就業規則の見直しを具体的に検討中。
高知県老人クラブ連合会	○市町村老連でこどもとの交流機会を持つことで、健やかな成長を見守り、手助けすると共に顔見知りになることで、登下校時の見守りや安全の確保に繋げて行くようにします。	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村老連が行うこどもとの交流や見守り活動を支援するモデル事業を実施する。また、その成果を市町村の広報に掲載することを通じて、活動のPRを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業を行う老連でニュースポーツや料理教室などを一緒に行う世代間交流事業を実施予定。
高知市老人クラブ連合会	○未婚化を防ぐため、若い人同士の出会いの場（きっかけ）を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブの会員に呼びかけ、婚活サポーターやサブサポーターを増やす。 ・年齢制限を設けない幅広い婚活活動について、老人クラブ連合会として支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブの会合等で、婚活サポーターへの参画を呼び掛ける。 ・老人クラブ連合会役員が参画する婚活活動について、連合会保有の備品等の貸し出しによる支援を行う。（令和2年7月26日 木村会館 「出会い・きっかけの集い」）
	○子ども達の登下校、公園、町角等での見守り活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生下校時の見守りや、交通安全運動に関わる校区での見守りを行う。 ・子ども見守り隊を結成し、地域で継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックや各単位老人クラブでの児童等の見守りを年間を通じて継続実施。ネーミングを工夫し、地域の実行組織を結成する。

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
(株)高知放送	○高知県がより、子どもを生き育てやすい地域となるよう、ラジオ・テレビを通じて、少子化対策に繋がる情報提供に注力するとともに、これまで展開してきた「子育て応援キャンペーン」を引き続き、積極的に取り組んでいきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援イベント「すこやか2020」を開催予定。本来は7月実施でしたが、新型コロナウイルス感染対策により、開催時期調整中。 ・アナウンサーによる「絵本の読み聞かせキャラバン」は、新型コロナウイルス感染拡大により、実施を見合わせている。 ・夕方のニュース番組「こうちe y e」内の「めばえ」コーナーの放送を通じて、実際に県内で子育てしている夫婦を紹介する。 ・高知県少子化対策推進県民会議の様々な取り組みについて協力するとともに、ラジオ、テレビ放送を通じて広く県民に情報提供する。 ・出会いイベントや出産、子育てに関する情報を対象となる従業員に紹介する。 ・育児休暇、有給休暇等の従業員の積極的な取得に努める。 	
(株)テレビ高知	<p>○県民の「出会い・結婚・出産・子育て」に関する一連の機運醸成に向け、社内・外共に広報の助力に努めます。</p> <p>○少子化問題、育児・教育、各職場での少子化対策の取り組み等を、ニュース・情報番組で取り上げ、県民の皆さんへの情報提供に努めます。</p> <p>○ワーク・ライフ・バランス推進の考えに基づき、社内でも働きやすい環境作りに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本件関連の番組取材、ニュース放送等を行うように努める。 ・社内に於いてはポスター掲示、チラシ・ノベルティグッズ等の配付を行うと共に、配信された「応援団通信、各種研修・講座案内」等を社内メールで再送信する。 ・本件関連の番組取材、ニュース放送等を行うように努める。 ・働き方改革の取り組みと共に、育児休暇制度等が利用し易い環境作りに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の「出会い・結婚・出産・子育て」に関する一連の機運醸成に向けて、番組取材・ニュース放送等を行なった。 ・社内に於いては配信された「応援団通信、各種研修・講座案内」等を社内メールで再送信した。 ・少子化問題、育児・教育、各職場での少子化対策に向けた取り組み等を、ニュース・情報番組で取り上げ、県民の皆さんへの情報提供を行なった。 ・ワーク・ライフ・バランス推進の考えに基づき、社内でも人事担当者を中心として働きやすい環境作りに取り組んだ。
高知さんさんテレビ(株)	<p>○「高知家の出会い・結婚・子育て」に関する取り組み等をニュースや情報番組を通じて、県民のみなさんへ広く知ってもらうよう努めます。</p> <p>○社内的にも「育児休暇制度」などを利用し、復帰しやすい職場の環境作りを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースや番組で、少子化対策の取り組みや、子育てを応援する情報を取材し放送するよう努める。 ・社内的には、「ワークライフ・バランス」の取り組みとして、有給休暇の積極的な取得推進をする。また、子育て支援として「育児休業制度」などを利用して復帰しやすい職場の環境作りを努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対策として高知市が設立した「プレママ応援給付金」(妊娠中の女性への支援)や越知町の「絆プロジェクト」(子どもがいる世帯への経済支援)等を取材し、ニュースで放送。コロナ禍におけるこどもの日の過ごし方など、子育てに役立つ情報を発信した。 ・有給休暇促進・・・時季指定有給取得達成者が9月末時点で80%超を達成。有給が取得しやすい職場環境となっている。 ・子育て支援・・・育児休業規程(2020.4)を変更し、時差勤務が取得しやすい環境を整備。また、8月から1名職場復帰。時短勤務者2名。
日本放送協会高知放送局	<p>○少子化問題や地域の子育てなど、次世代育成に関する様々な課題や対策を機会あるごとに放送で紹介し、視聴者とともに今後のあり方を考えていきます。</p> <p>○ワーク・ライフ・バランスの取り組みを推進させ、働きやすい職場の環境づくりを進めていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てや少子化対策などの県や市の施策をニュース番組のなかで取り上げる。 ・連続休暇など希望に沿った休暇取得の推進を図る。また、子育てを支援するため、育児休暇や時短勤務などを利用しやすい職場環境づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあって、ニュース取材を除いては「少子化対策」の高知における番組展開などはあまり実現していない。ただ同じくコロナ禍にあって、「ステイホーム」など家族で過ごす時間を楽しめるような番組を全国放送・県域放送を問わず放送しており、結果的に「家族の時間」を応援できたのではないかと。 ・男性職員の育児休業取得(3名)など、ワークライフバランスの取り組みを推進した。

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
(株) 高知 新聞社	○出会い、結婚応援に関して、さまざまな角度から県民への情報提供に努めます。	・出会い、結婚応援に関して、さまざまな角度から紙面に取り上げる。	・同左。随時、情報収集、発信に努める。
	○少子化の問題や地域の子育てについて、さまざまな角度から県民への情報提供に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の問題や地域の子育てについて取材し、紙面化していく。 ・20代後半から40代の母親を主な対象にした子育て世代向けウェブサイトを構築する。 ・「家族」を中心に考えるフリーペーパー「ミリカ」を発行。「子育て日記」「子育てコラム」の連載を継続するなどして、積極的な情報発信に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左。随時、情報収集、発信に努める。 ・子育て応援ウェブメディア「ココハレ」を5月5日にリリース。子育てに関するインタビュー記事やお出掛けスポット、イベントなどの情報を毎日発信。無料通信アプリ「LINE」に公式アカウントを設け、毎週木曜日にお薦め情報を提供している。 ・子育てプロジェクトに関する社内横断チームを組織しており、種々の観点から企画立案中。
	○少子化対策や子育て支援のフォーラム、セミナーなどについて、主催、共催、後援を行い、紙面などを通じて情報提供に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・90回を迎える「赤ちゃん会」を通じて、高知に生まれた子どもをすこやかに育てるお手伝いをする。医師や歯科医師、保健師などの専門家と子育て中の家庭を結び、子育てや医療、保健の悩み解決につなげるとともに、当日の様子を報道し、写真や記事を子育ての記念にってもらうなどの取り組みを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第90回「赤ちゃん会」は新型コロナウイルスの感染防止のため、高知（高知市）、幡多（宿毛市）の2会場とも中止にした。一方で子育て家族を応援するため、赤ちゃん会に参加を申し込んだ約1400人を対象に、写真撮影会を開催。記念になる写真や記念新聞を有償で提供した。
高知県 市長会	○市の行う少子化対策について、国等へ必要な要望を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・春の定例会にて決定した要望事項を四国市長会に提出し、その後全国市長会を通じて国へ要望を行う。 ・秋の定例会にて決定した要望事項を県に提出する。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春に行われた四国市長会では、【子育て支援施策の充実強化】として、国の責任において「全国一律での子どもの医療費助成制度の創設」「幼児教育・保育の無償化」など、将来を担う子どもたちが自治体の財政力に左右されることなく、必要な支援を公平に受けることができるよう、積極的な子育て支援措置を全国市長会を通じて国に要望した。 ・秋に行われた高知県市長会では、「不育症」に関する実態調査の実施と専門の相談機関の設置及び治療に対する助成制度の創設について県に要望するよう採択された。 また、併せて不育症治療が受けやすくなるよう、社会的な認知のための広報活動等、中心的な役割を県で担うよう要請する。
	○関係機関と連携して各市に対する情報提供等を行います。	出会い・結婚・子育て応援事業の広報物を各市（11市）へは配布する。	<p>【実績】 出会い・結婚・子育て応援事業の広報物を各市へは配布した。</p> <p>【予定】 出会い・結婚・子育て応援事業の広報物を各市へは配布する。</p>
高知県 町村会	○町村の行う少子化対策について、国等に必要な制度要望を行います。	<p>「四国四県町村長・議長大会」(R2.9.29開催予定)において「医療・福祉施策の充実・強化」として、下記の少子化対策に関連する要望事項を採択し、国等へ要望活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの医療費無償化 ・子ども・子育て支援新制度のさらなる質の改善に必要な財源の確保 ・少子化対策事業の継続実施が可能となる財政支援措置 ・幼児教育・保育の無償化に用いる事務費等への継続した財政支援 ・慢性的な保育士不足の解消に向けた雇用管理改善などの職場の環境改善 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2.9.8現在は、活動実績なし。 <p>【予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2.9.29に「四国四県町村長・議長大会」開催し、左記の内容を提案予定。 ・R2.10月に県選出国會議員に対して要望活動を実施予定。 ・R2.12月に県に対して要望活動を実施予定。
	○関係機関と連携して各町村に対する情報提供を行います。	出会い・結婚・子育て応援団の啓発資材を事務局に設置する。	<p>【実績】</p> <p>出会い・結婚・子育て応援団の啓発資材を事務局に設置した。</p>

団体	応援宣言	取組計画	実績（予定）
キラキラ ☆ママ 高知	○「ママ達の居場所」を継続して開催し、子育てママ達の孤立を防止するコミュニティを作ります。	・子育てに忙しくなかなか外との交流が出来ないママ達が、安心して足を運べるよう定期的に「ママ達の居場所」を開催する。初めての場所に参加をするのは勇気がある。まして、周りがグループで参加をしていると更に孤立感が増していく。そうならないために、一人でも参加しやすいイベント形式で開催をし、ママ達の交流、共感できる場を提供する。（月3回定期開催予定）	・コロナの関係で3月～7月まで対面での活動を休止。オンラインでのみ活動。8月より、月2回で対面とオンラインでの活動再開。実際に来る方、オンラインで参加の方、各々のペースで参加する形が好評で、四万十市などの遠方からも参加もあり。オンラインは、日頃家に引きこもってるママも、気軽に参加でき、また自分が発言をしなくても、他の人の会話を聞くだけでリフレッシュになるという声も多く頂いています。コロナ禍が新しいサークルの在り方を作ってくれた。
	○地域の民生員、児童福祉員、商店街、お年寄りらと交流を深める事で、地域で子ども達を見守るコミュニティを作ります。	・地域で子どもを育てていく連帯意識が希薄化している中、地域でコミュニティを作り、身近な人に子育てについて学ぶ機会を作るきっかけづくりやママ達と地域の交流の場づくりとして、商店街内でキラキラ☆ママ高知を月に一度定期的に開催する。	・コロナの影響で、お年寄りとの交流は休止中。月1度の商店街での、子育て家族と地域の交流イベントは、8月より再開。ソーシャルディスタンスを取りながら楽しい時間を過ごしている。（8月：親子8組／9月：親子16組／10月：親子22組）
	○チラシ・パンフレット等を配布するとともに、そこに「生きた情報」をプラスして提供できるママ達のコミュニティを作ります。	・ネットで検索して物事を解決する昨今、人とのコミュニケーションの中で問題を解決していく力が欠落しつつある。そのような中、「スマホで何時間かけても解決しなかった自分の不安や悩みが、キラキラ☆ママ高知でママ達と話をする事であったという間に解消された。」と感激していた方もいた。人との間には「生きた情報」が生まれる。チラシ・パンフレットをただ配布するだけではなく、その情報を「生きた情報」に変えていけるような交流に取り組む。	・各自治体のチラシや情報誌などを配布だけではなく、それを見ながら、みんなで雑談をする事を8月よりスタート。ママ達の疑問や不安が、その場で解決したり、心が軽くなったりする事で、ママ達にとって、普通のチラシではない状態で持ち帰る事が出来ています。
	○児童家庭支援センターと連携をし、子育てに厳しい環境の家庭に対し、絵本セラピー&音楽セラピーを継続して開催します。	・子育てに厳しい環境の家庭は、様々な理由でその環境におかれている。そういった家庭に対し、癒しや気づきが生まれるセラピーコンサートを継続して開催する。	・コロナの関係で現在は休止中。今後、連携を取りながら様子を見ていく。

応援宣言	取組計画
○育児休暇・育児休業の取得を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・各構成団体において、だれもが仕事と育児を両立しやすい職場環境をつくり、従業員の希望に応じた育児休暇や育児休業の取得を応援する。 ・「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」と連携した、県民運動の展開と県民に対する意識の醸成を図る。

団体名	実績(取組予定)
高知県社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・対象職員の希望に応じて育児休暇及び育児休業の取得を承認しており、引き続き取得を応援する。
高知県高等学校長協会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場では、年度初めに職員の育児休暇・休業の取得に関する説明をするとともに、所属職員から本人もしくは配偶者の妊娠、出産等に関する事前の報告があった場合、速やかに休暇・休業に関わる情報を提供し、積極的な育児への参画を促している。 ・フォーラムに関する情報を提供するとともに、出会い・結婚・子育てがしやすい雰囲気や相談のしやすさや助け合える人間関係が構築された職場環境づくりに努めている。
高知県保育士会	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設において、仕事と育児を両立できるよう、希望の育児休暇・育児休業の環境づくりをする。 ・積極的な出会いの場の展開に努める。
高知県国公立幼稚園・こども園会	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休暇や育児休業を十分に取得しやすい雰囲気を作り、働きながら子育てしやすい職場環境づくりに努めている。 ・保護者や職員に広報(リーフレット)を配布している。
高知県私立幼稚園連合会	育児休暇・育児休業取得実施中
高知県商工会連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員が仕事と育児を両立しやすい職場環境をつくり、従業員の希望に応じた育児休暇や育児休業の取得を応援する。
高知県中小企業団体中央会	<ul style="list-style-type: none"> ・本会が発行する機関誌「へんしも情報」9月号に、高知家の出会い・結婚・子育て応援団の募集案内に合わせて、育児休暇・育児休業の取得促進に関する記事を掲載した。(取得促進宣言の賛同企業募集) ・本会入口に設置しているパンフレットスタンドの目立つ場所に「るんだ」の育休取得促進のマグネットを常時設置。
高知県農業協同組合中央会	<ul style="list-style-type: none"> (JA高知県) ・育児休業の取得実績(令和2年4月～8月) 対象者26名中25名が育児休業を取得(取得率96%) (男性の取得は0名)
高知県森林組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休暇等の制度について情報提供及び活用の推進。 ・「出会い・結婚・子育て」に関するパンフレット等の配布。
高知県町村会	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休暇・育児休業等に関する条例及び規則を整備済み。 ・職員の希望に応じた育児休暇等の取得を応援している。

応援宣言	取組計画
○時間単位年次有給休暇制度の導入を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・時間単位年次有給休暇制度の導入を支援するセミナーを開催する。 ・会員団体向けに行っている主要事業（経営に役立つ情報提供・支援サービス等）に、支援サービスメニューを盛り込む。 ※追加する内容：時間単位年次有給休暇制度導入のための情報提供等（労使協定、労務管理等への支援）

団体名	実績（取組予定）
高知県社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・既に、時間単位で取得可能な制度としており、職員の希望に応じた時間で取得がされている。 一方、一日（又は半日）単位で計5日以上取得が義務化されているため、付与された年次有給休暇日数のうち5日については一日（又は半日）単位での取得をするよう実績確認を行い、年度末までの取得を促している。
高知県歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・時間単位年次有給休暇制度の導入は実績なし（半日単位の年次有給休暇は導入している）
高知県高等学校長協会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場ではすでに実施している。 ・さらに、年次有給休暇等が取得しやすい職場環境づくりに努めている。
高知県保育士会	<ul style="list-style-type: none"> ・時間単位年次有給休暇制度取得を強化する。
高知県国公立幼稚園・こども園会	<ul style="list-style-type: none"> ・時間単位年次有給休暇制度を実施し、希望する時間が取得できるようにしている。
高知県私立幼稚園連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・一部施設にて、時間単位年次休暇実施中
高知県商工会連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・時間単位年次有給休暇制度導入済み
高知県中小企業団体中央会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員組合、組合員企業からの時間単位年次有給休暇制度の導入に関する個別相談に適宜対応するとともに、「高知県働き方改革推進支援センター」や社会保険労務士を紹介。 ・「高知県働き方改革推進支援センター」について紹介する記事を本会機関誌「へんしも情報」10月号に掲載。
高知県農業協同組合中央会	<ul style="list-style-type: none"> (JA高知県) ・時間単位年次有給休暇制度については既に導入済み。
高知県森林組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・時間単位の有給休暇制度は導入済み、時間給取得実績も多数あり。 未導入会員に対しては、制度について情報提供を行うとともに、導入に向けて推進に努める。
高知県町村会	<ul style="list-style-type: none"> ・時間単位年次有給休暇制度の整備済み。

応援宣言	取組計画
○少子化対策に関連した情報を積極的に広報します。	<ul style="list-style-type: none"> ・各構成団体の強みを生かした広報手段(会報誌やニュース番組等)により、結婚支援、子育て支援、ワーク・ライフ・バランス推進に関する情報を県民に広報する。 ・高知県子育て応援マスコットパンダ「るんだ」を積極的に活用する。(会報誌等に「るんだ」のイラストを活用、イベントに「るんだ」の着ぐるみを活用等)

団体名	実績(取組予定)
高知県高等学校長協会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場では、日々の授業(家庭、保健体育、公民等)をととして少子化の実態を周知しながら、その原因や対策を生徒自らが考え、自らの将来に結びつけられるよう工夫を行っている。
高知県保育士会	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士会便りや保育士会委員ニュース等を活用し、少子化対策に関連した情報を積極的に広報する。 ・イベント等で、着ぐるみやイラストを積極的に活用する。
高知県国公立幼稚園・こども園会	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・育児期における支援体制を行い、継続して広報に努めている。 ・ポスターの掲示の他、広報やチラシの配布などを行い、情報提供を引き続き行っている。
高知県商工会連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・会報誌や職員対象の電子掲示板等により、結婚支援、子育て支援、ワーク・ライフ・バランス推進に関する情報を広報する。
高知県中小企業団体中央会	<ul style="list-style-type: none"> ・本会機関誌「へんしも情報」9月号に、高知家の出会い・結婚・子育て応援団の募集案内記事を掲載した。また、10月号に「こうち出会いサポートセンター」の紹介記事を掲載。
高知県農業協同組合中央会	<ul style="list-style-type: none"> ・組織内広報等を通じて関係者に適宜情報提供を行う。
高知県森林組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの掲示、会員へ情報提供など広報活動に努める。
高知県町村会	<ul style="list-style-type: none"> ・「るんだ」の啓発資材(のぼり旗)を事務局に設置して活用している。